



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月4日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社 上場取引所 東・大・名 各1部

コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 酒井 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 佐藤 康弘 TEL (03) 3283-5041

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	383,296	7.1	37,597	13.4	49,535	7.3	32,526	△0.7
19年3月期第3四半期	357,744	11.3	33,155	21.3	46,185	27.0	32,753	27.5
19年3月期	482,608	—	42,220	—	61,723	—	40,044	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	70	38	68	86
19年3月期第3四半期	70	86	70	28
19年3月期	86	63	85	64

(参考) 持分法投資損益 20年3月期第3四半期 14,918百万円 19年3月期第3四半期 14,546百万円 19年3月期 23,200百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	616,294	312,697	49.2	656	32
19年3月期第3四半期	604,224	284,505	45.5	595	27
19年3月期	609,965	292,696	46.5	613	64

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	32,529	△22,027	△22,639	29,092
19年3月期第3四半期	10,320	△11,444	△7,756	33,799
19年3月期	21,797	△14,039	△8,819	41,266

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

業績は概ね予想通りに推移する見込みであり、通期の業績予想につきましては平成19年11月9日に発表した数値に変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループにおける当第3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）の業績は、売上高 3,832億円（前年同期比 255億円増 +7.1%）、営業利益 375億円（前年同期比 44億円増 +13.4%）、経常利益 495億円（前年同期比 33億円増 +7.3%）といずれも前年同期を上回りましたが、四半期純利益はコエンザイムQ10製造設備の減損処理などによる特別損失を計上した結果、325億円（前年同期比 2億円減 △0.7%）と前年同期並みとなりました。

[天然ガス系化学品]

メタノールは、世界的にプラントの稼働状況が安定したことから需給が緩和し、当期に入り市況が下落しましたが、海外他社プラントの操業率低下を起因として秋口より市況が再び大きく上昇した結果、海外子会社を含めて増収となりました。また、海外メタノール生産会社の持分法利益は、平均価格が前年同期を上回ったことから、増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、一般的に需要が堅調で、上昇した原燃料コストも販売価格に転嫁できたことから、前年同期を上回る結果となりました。

酵素・補酵素類は、コエンザイムQ10の販売数量は増加したものの、輸出を中心に市況が下落し、前年同期を大幅に下回る結果となりました。

この結果、売上高は1,017億円（前年同期比 41億円増 +4.2%）、営業利益は25億円（前年同期比 1億円減 △7.2%）となりました。

[芳香族化学品]

汎用芳香族化学品は、原料キシレン価格の高騰を受けて販売価格が上昇したものの、パラキシレンの販売数量が減少したため、前年同期をやや下回りました。

特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミン（MXDA）やMXナイロンなどが堅調に推移したことに加え、世界的に需給が逼迫した高純度イソフタル酸の販売が好調であったことなどから、大幅に増収増益となりました。

この結果、売上高は1,088億円（前年同期比 75億円増 +7.5%）、営業利益は106億円（前年同期比 48億円増 +83.0%）となりました。

[機能化学品]

工業用無機薬品類は、過酸化水素の販売数量が紙・パルプ向けをはじめとして堅調に推移しました。

電子工業用薬品類は、一部高付加価値製品がユーザーの在庫調整の影響を受けたことから、前年同期を下回る結果となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリカーボネートを中心に電気・電子、自動車向けの需要が引き続き堅調でしたが、原燃料高の影響により前年同期を下回りました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、引き続きフラットパネルディスプレイ向けなどの需要が好調に推移しましたが、販売価格の引き下げにより前年同期並みに止まりました。

この結果、売上高は1,123億円（前年同期比 83億円増 +8.1%）、営業利益は114億円（前年同期比 12億円減 △9.8%）となりました。

[特殊機能材]

プリント配線板用材料は、銅箔をはじめとする原材料価格が高止まりしましたが、上期の受注が好調であったことにより、前年同期比で増収増益となりました。プリント配線板用小径孔あけ補助材料LEシートは、内製化比率の向上によるコスト削減効果等で増益となりました。プリント配線板製造子会社の日本サーキット工業㈱も主力のCSP製品を中心に受注が堅調で増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、需要は堅調でしたが国内食品分野における競争が激しく、減益となりました。

この結果、売上高は596億円（前年同期比 56億円増 +10.4%）、営業利益は129億円（前年同期比 14億円増 +12.5%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、現金及び現金同等物の減少があったものの、有形固定資産、投資有価証券の増加等により、前期末比で63億円増加し6,162億円となりました。負債は、長期借入金、繰延税金負債の減少等により、前期末比で136億円減少し3,035億円となりました。純資産は、当四半期純利益等により、前期末比で200億円増加し3,126億円となり、1株当たり純資産は656円32銭になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等による資金増加額が、売上債権の増加等による資金減少額を上回り、325億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得、投資有価証券の取得等により220億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払い等により226億円の支出となりました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物期末残高は290億円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、当社は建物（建物附属設備は除く）を除く有形固定資産の減価償却方法を定額法から定率法に変更しております。

これらの変更により、従来の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,861百万円減少しております。

・在外子会社等の収益及び費用については、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、当第1四半期連結会計期間から期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高は1,356百万円、営業利益は42百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は430百万円それぞれ増加しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	金額(百万円)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金・預金	33,780	29,557	△4,222	36,565
受取手形・売掛金	155,434	158,858	3,423	151,782
たな卸資産	62,342	63,608	1,266	66,115
その他	19,088	20,235	1,146	22,449
貸倒引当金	△585	△1,014	△429	△986
流動資産合計	270,060	271,244	1,184	275,926
II 固定資産				
有形固定資産	158,559	161,488	2,929	152,964
無形固定資産	2,905	2,972	67	2,888
投資有価証券	160,881	168,202	7,320	165,373
その他	12,594	13,141	546	13,595
貸倒引当金	△777	△755	21	△782
固定資産合計	334,164	345,049	10,885	334,039
資産合計	604,224	616,294	12,070	609,965

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	金額(百万円)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形・買掛金	100,420	98,683	△1,736	96,868
短期借入金	90,990	83,245	△7,745	85,587
その他	36,172	40,604	4,431	39,212
流動負債合計	227,583	222,532	△5,050	221,668
II 固定負債				
社債	21,000	21,000	—	21,000
長期借入金	51,926	46,228	△5,698	57,362
退職給付引当金	8,596	7,703	△892	8,190
その他	10,612	6,132	△4,479	9,047
固定負債合計	92,135	81,064	△11,070	95,600
負債合計	319,718	303,596	△16,121	317,269
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	41,970	41,970	—	41,970
資本剰余金	35,563	35,573	10	35,564
利益剰余金	181,360	214,364	33,004	188,695
自己株式	△4,110	△4,273	△162	△4,138
株主資本合計	254,783	287,635	32,852	262,091
II 評価・換算差額等	20,368	15,646	△4,722	21,539
III 少数株主持分	9,354	9,415	61	9,064
純資産合計	284,505	312,697	28,191	292,696
負債、純資産合計	604,224	616,294	12,070	609,965

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 売上高	357,744	383,296	25,552	482,608
II 売上原価	288,687	305,160	16,473	390,929
売上総利益	69,057	78,135	9,078	91,678
III 販売費及び一般管理費	35,901	40,538	4,636	49,458
営業利益	33,155	37,597	4,442	42,220
IV 営業外収益	18,025	18,000	△25	27,322
V 営業外費用	4,995	6,062	1,066	7,819
経常利益	46,185	49,535	3,350	61,723
VI 特別利益	630	—	△630	953
VII 特別損失	567	4,412	3,845	10,028
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	46,248	45,122	△1,125	52,648
法人税等	12,404	11,472	△931	11,328
少数株主利益	1,090	1,123	33	1,275
四半期 (当期) 純利益	32,753	32,526	△227	40,044

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	46,248	45,122	52,648
減価償却費	14,102	16,833	28,626
持分法による投資利益	△14,546	△14,918	△23,200
売上債権の増減額	△29,032	△7,144	△25,271
たな卸資産の増減額	△6,793	1,826	△10,763
仕入債務の増減額	14,501	1,148	11,191
その他	△14,159	△10,337	△11,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,320	32,529	21,797
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	△19,365	△26,589	△26,316
固定資産の売却による収入	2,822	903	2,534
投資有価証券の取得による支出	△2,101	△9,652	△2,385
投資有価証券の売却による収入	194	41	542
その他	7,005	13,269	11,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,444	△22,027	△14,039
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増減額	△527	△1,857	△746
長期借入れによる収入	15,793	1,625	22,843
長期借入金の返済による支出	△27,319	△14,514	△34,456
社債の発行による収入	20,000	—	20,000
社債の償還による支出	△10,000	—	△10,000
その他	△5,702	△7,892	△6,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,756	△22,639	△8,819
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	227	△616	△123
V 現金及び現金同等物の増減額	△8,653	△12,753	△1,186
VI 現金及び現金同等物の期首残高	40,590	41,266	40,590
VII 連結範囲の変更による期首現金及び現金同等物の増減額	1,006	578	1,006
VIII 合併に伴う現金及び現金同等物の増減額	856	—	856
IX 現金及び現金同等物の期末残高	33,799	29,092	41,266

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

	天然ガス系化学品 (百万円)	芳香族化学品 (百万円)	機能化学品 (百万円)	特殊機能材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	97,621	101,216	103,994	54,093	818	357,744	—	357,744
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,552	1,117	1,341	27	77	8,116	△8,116	—
計	103,173	102,334	105,336	54,120	895	365,861	△8,116	357,744
営業費用	100,441	96,541	92,661	42,606	567	332,818	△8,229	324,589
営業利益	2,732	5,793	12,674	11,514	328	33,042	112	33,155

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

	天然ガス系化学品 (百万円)	芳香族化学品 (百万円)	機能化学品 (百万円)	特殊機能材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	101,759	108,806	112,394	59,698	638	383,296	—	383,296
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,832	1,381	1,715	12	142	10,084	△10,084	—
計	108,592	110,187	114,109	59,710	781	393,380	△10,084	383,296
営業費用	106,056	99,585	102,673	46,753	461	355,530	△9,832	345,698
営業利益	2,535	10,602	11,435	12,956	319	37,849	△252	37,597

(参考) 前期 (平成19年3月期)

	天然ガス系化学品 (百万円)	芳香族化学品 (百万円)	機能化学品 (百万円)	特殊機能材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	136,086	133,165	141,215	71,071	1,068	482,608	—	482,608
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,106	1,522	1,866	36	115	11,646	△11,646	—
計	144,193	134,687	143,081	71,108	1,184	494,255	△11,646	482,608
営業費用	141,713	127,287	125,879	56,649	701	452,230	△11,842	440,388
営業利益	2,479	7,400	17,202	14,459	482	42,024	195	42,220